北名古屋市議会だより vol.88

きたろ

特集

令和4年度決算 税金をムダにしていないかチェック

令和5年第3回定例会Pickup案件

・意見書を国に提出しました
・令和6年度の庁舎配置替えに向けた準備や名鉄犬山線と豊山西春線の立体交差に関する整備手法が比較検討されます

CONTENTS

特集　令和4年度決算 税金をムダにしていないかチェック …… P.2
令和5年第3回定例会の結果 …… P.4
一般質問（10人21項目） …… P.8
議会運営委員会 視察報告 …… P.14
令和5年第4回定例会の予定 …… P.16

桃源郷

奥岡　夢乃
OKUOKA Yumeno
名古屋芸術大学　芸術学部
2022年度　卒業制作

令和４年度

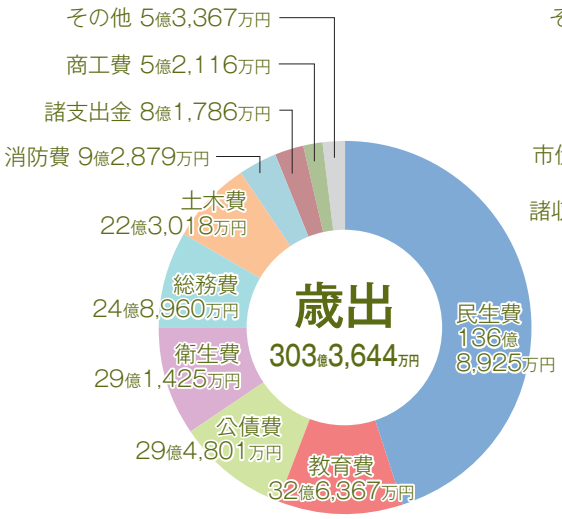
決算

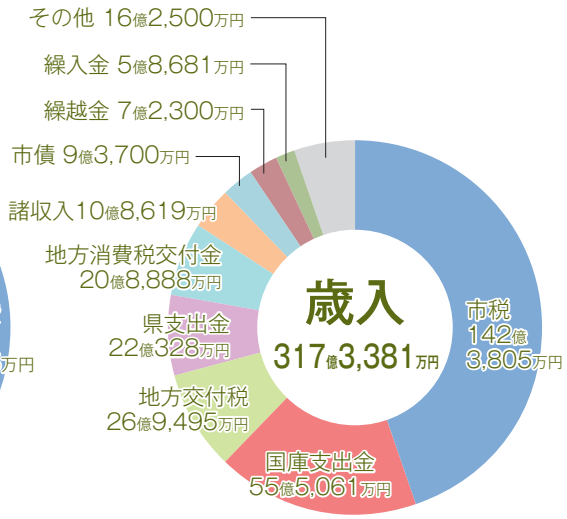
税金をムダにしていないかチェック

市議会では、市の財政の健全性を保つため、前年度の決算に関する議案の審議が行われました。収支の確認や予算執行の評価を通じて、市民の皆様の信頼に応える透明な財政運営を目指しています。また、今回の審査は次年度の予算編成につながる重要なステップでもあります。市民の皆様からの貴重なご意見を、市の発展と良好な生活環境の維持に繋げるため、努めてまいります。

みなさんの声を予算に生かすために…

決算審査は、次の予算編成につなげるための未来に向けた大事な審査です





ごみ、資源の処理費用

13億6,437万円

そのうち家庭ごみの処分費用
3億2,170万円

内訳	
可燃ごみ	3億　402万円
不燃ごみ	1,331万円
粗大ごみ	436万円

予算決算常任委員会での質疑と答弁

Q 陽だまりハウス利用増加の見解は

A 幅広い世代に利用され地域コミュニティが形成されている。今後もNPOと連携し、老朽化対応等バックアップする。

Q もえの丘の入浴サービス再開は

A 未だ新型コロナウイルス感染者数が多い中、介護サービスを実施している施設のため再開の見通しは立たない。行財政改革（公共施設見直し）にも関わる問題。

Q 後期高齢者健診の受診率の低さは

A 県下で低い状況。医療機関への協力依頼や未受診者への勧奨ハガキ等、受診率向上に努める。

Q 子宮頸がん予防の男性へのワクチン接種は

A 女性への接種執行率は20％にとどまる。まずは女性の接種率向上に努める。

Q ごみ減量への環境課の取組は

A 2年間で1人1日あたりの家庭ごみの排出量が29ｇの減量、処分費用が1，850万円の削減。広報等の啓発により市民の意識が向上したもの。引き続き、ごみ減量と分別に協力を。

Q こころの体温計の利用急増の要因は

予算決算常任委員会での質疑と答弁

Q 寄附金控除（ふるさと納税）による税収減についてどう考えるか

A ふるさと納税による流出を危惧する。引き続き研究していく。

Q 収納率を上げるための取組は

A SMS自動音声催告システム導入を検討している。

Q 民間債権回収会社導入の考えは

A 民間委託できる税以外の債権について、費用対効果を見極め全庁的に検討する。

Q 財政調整基金等の使い道をどう考えるか

A 毎年、基金を取り崩しており予断を許さない状況。今後使わないといけないもののために貯めている。バランスを持って使っていく。

Q 自治会、町内会離れが進むが

A 担い手不足、加入率低下は深刻。来年度、防災と市民活動を同一部として新設、共助活性化をはかる。小学校区単位のコミュニティなど研究する。

Q 消防団の運営は

A 操法大会、観閲式等、団結し活気あふれる活動をしてもらうため、団員募集にも努める。

Q 田んぼダム（雨水対策）基礎調査の予定は

A 導入適地を選定し、今後導入に向け進めていく。

コロナ対応など暮らしの支援のため 総額 14億5,523万円 使いました

- **新型コロナウイルス予防接種事業** 3億6,897万円
  接種者数　延べ240,595人
- **子育て世帯生活支援特別給付金支給事業** 8,418万円
  対象児童（ひとり親世帯分）755人　（その他世帯分）787人
  児童1人当たり5万円
- **保育所等給食食材費高騰対策事業** 250万円
  幼保連携型認定こども園（1園）34,119食
  小規模保育事業所（9園）27,686食
  家庭的保育事業所（1園）932食　　園児1人当たり1食40円
- **北名古屋市生活支援クーポン券事業** 1億9,332万円
  配布86,082人（37,826世帯）　利用率91.7%
  1人あたり2,000円分（1冊：200円×10枚）
- **小中学生春休み応援食品セット支給事業** 2,809万円
  児童・生徒7,483人　　1人あたり約3,700円
- **愛知県子育て世帯臨時特別給付金支給事業** 1億1,596万円
  対象児童11,114人　　児童1人当たり1万円
- **児童扶養手当受給者生活支援給付金支給事業** 3,884万円
  対象児童776人　　児童1人当たり5万円
- **電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業** 2億8,632万円
  非課税世帯5,478世帯　家計急変世帯28世帯　1世帯当たり5万円
- **住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業** 2億4,228万円
  非課税世帯2,286世帯　家計急変世帯25世帯
  1世帯当たり10万円

※この他にもさまざまな支援が行われました。

消防団の活動 **2,103万円**

田んぼダム基礎調査 **262万円**

民間プール活用 **1,508万円**

A 十代の利用が多い。気軽にチェックできることが利用につながったのでは。教職員、民生委員など周りが気づけるような取組を進める。

Q コミュニティスクールで不登校生徒へのサポートは

A 日頃から子どもたちのために取り組んでもらっている。不登校生徒の支援も検討できたらと考える。

Q 水泳授業での民間プールの活用効果は

A 熱中症予防、天候に左右されない運営、教員の業務軽減の効果あり。課題は、移動時間、2時限連続の授業、見学者対応。現在民間プールを活用していない13校は大規模修繕を要した場合に検討する。

Q 放課後子ども教室（学校教育課）と児童クラブ（児童課）の運営は

A ほとんどの児童が併用している状況。利便性向上のため、所管課一元化に向け協議中。

Q 国民健康保険被保険者のうち生活困窮者の割合は。

A 所得が200万円以下の被保険者は80%を超える。

Q 介護保険給付費2・1億円増加どのように受け止めるか

A 今後も高齢者の増加、認知症の増加は見込まれる。保険料見直しや基金の活用も考える。安定した介護サービス確保には人材確保、地域づくりも重要。地域特性に合った取組が必要と考える。

令和5年　第3回定例会の結果
会期29日間　8月25日～9月22日

今回の議案

決算の認定……7件
補正予算……5件
条例の制定……1件
和解及び損害賠償……1件
意見書（議員提案）……2件

議案番号	議　案　名	議決結果
議案第45号	令和4年度北名古屋市一般会計決算の認定について	賛成多数原案認定
議案第46号	令和4年度北名古屋市土地取得特別会計決算の認定について	全員賛成原案認定
議案第47号	令和4年度北名古屋市国民健康保険特別会計決算の認定について	賛成多数原案認定
議案第48号	令和4年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	
議案第49号	令和4年度北名古屋市介護保険特別会計決算の認定について	全員賛成原案認定
議案第50号	令和4年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計決算の認定について	
議案第51号	令和4年度北名古屋市下水道事業会計決算の認定について	
議案第52号	令和5年度北名古屋市一般会計補正予算（第5号）について	全員賛成原案可決
議案第53号	令和5年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	
議案第54号	令和5年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	
議案第55号	令和5年度北名古屋市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	
議案第56号	令和5年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）について	
議案第57号	北名古屋市国家戦略特別区域法第20条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	
議案第58号	和解及び損害賠償の額の決定について	
議案第59号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について	
議案第60号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出について	

色の付いている議案をピックアップし具体的にどう変わるのかを(P.5～7)に掲載しております。

全ての議案内容は、北名古屋市ホームページの「議案・請願とその審議結果」をご覧ください。

議会だよりがアプリで読めます。

マチイロ

私学助成の拡充を

国の責務と私学の重要性にかんがみ、父母負担の公私格差を是正するために「就学支援金」を一層拡充するとともに、私立学校振興助成法に基づく国庫補助制度を堅持し、私立高等学校以下の国庫補助金と、それに伴う地方交付税を充実し、私立高等学校以下の経常費補助の一層の拡充を図られるよう関係行政庁に要望する。

子どもの教育環境教育予算に関する予算確保を

令和6年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう関係行政庁に要望する。

Pick up

意見書を国に提出しました

議案第59号　定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について

議案第60号　国の私学助成の拡充に関する意見書の提出について

本会議・委員会を傍聴してみませんか

本会議・委員会開催日に、市役所東庁舎4階東エレベーター前で傍聴受付を行います。（日程はP.16定例会の予定参照）

傍聴の受付時間は、本会議、委員会とも会議開始30分前からとなります。

※委員会は先着10名となり、途中での入退場はできませんのでご了承ください。

全員協議会室

本会議場

庁舎配置替え事業　3,191千円

行財政改革実行プラン(令和4年12月策定)に基づき、新たな政策課題への対応と市役所の利便性向上を目指し、組織体制の見直しと東西庁舎の配置替えを実施する。(令和６年度)

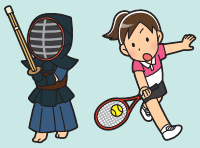
委託料　オフィスレイアウト作成業務 2,533千円　ほか

中学校部活動の地域移行推進事業　412千円

生徒が継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境づくりを進めるため、一部の部活動による実証事業により、運用上の課題を整理する。

委託料　実証事業委託料　286千円

・白木中学校ソフトテニス部（委託先：白木スポーツクラブ）
・訓原中学校剣道部（委託先：北名古屋市剣道連盟）



子育て世帯生活支援特別給付金支給事業　30,070千円

食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を行う。

第1回臨時会（令和5年4月）の補正予算で可決した事業の増額補正

給付金　ひとり親世帯分 320人×5万円
その他の子育て世帯分 280人×5万円

Pick up

議案第52号　令和5年度北名古屋市一般会計補正予算(第5号)について

令和6年度の庁舎配置替えに向けた準備や名鉄犬山線と豊山西春線の立体交差に関する整備手法が比較検討されます

可決

こんな質問が出ました

庁舎配置替え（レイアウト作成委託）

Q　市民への影響は

A　同一部、同一庁舎となるため、分かりやすく市民対応も良くなる。

Q　職員への影響は

A　両庁舎での対応による職員負担が緩和。また部長が同一庁舎にいない部署は、緊急時に庁舎移動を強いられているが、解消される。

Q　福祉関係の申請（東庁舎）で税の証明が必要な場合は西庁舎に行くのか

A　証明を要する申請は基本的にないが、福祉部が一つになることがマイナスとならないよう検討する。

部活動地域移行の実証

Q　勝ちにこだわる部活とスポーツを楽しむスポーツクラブでは視点がちがう。どちらを目指すのか

A　運動が好きな子を育てる視点を目指す。実証で成果と課題を洗い出し本市にあった今後の展開を考える。

Q　文化部は

A　名古屋芸術大学と協議中。

鉄道高架代替整備手法比較検討事業　15,000千円

名鉄犬山線と豊山西春線の交差形式は鉄道高架として推進してきたが、行財政改革を進める中、改めて鉄道高架の妥当性についての確認が求められており、さまざまな観点から事業概要を整理し、概略設計を行い、比較検討する。（期間：令和5年度～令和6年度）

委託料	諸条件等の整理・各種整備手法の検討・概略設計・比較検討	15,000千円

•～•～• これまでの経緯（鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会より）•～•～•

平成20年3月	市総合計画（立体交差化による市域の一体化を位置づける）
平成23年～26年	愛知県により連続立体交差事業調査を実施
平成24年6月	市議会において　「鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会」を設置 鉄道の連続立体交差事業や関連する鉄道周辺のまちづくり等、これら諸問題に対する受け皿として、また、議会として、この事業を推進していくとともに、全議員が情報を共有する必要性があることから、特別委員会を設置した。
平成27年10月	北名古屋市鉄道周辺まちづくり実施方針策定・市民説明会
平成30年10月	愛知県、名鉄、市で鉄道高架化事業に関して段階施工とすることを確認
令和元年9月	愛知県、名鉄で鉄道高架化事業の推進に向けた覚書を締結、 愛知県より名鉄へ鉄道予備設計を委託

その他に、鉄道周辺まちづくりに関する地元合意形成に向け、徳重・名古屋芸大駅周辺まちづくり説明会、検討会議、エリアマネジメントプロジェクト『えきつな』 等が実施される。

鉄道周辺まちづくりに関する市長からの答弁（概要）

令和4年6月 市議会一般質問
（名鉄高架事業と徳重・名古屋芸大駅周辺整備の今後の展望について）

現状の行政運営を考える中で、当該事業をこのまま進めるには厳しい状況と言わざるを得ない。

令和4年6月 鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会
（この事業の方向性について）

財政が健全化され、鉄道高架への投資ができるようになれば、当然ながら進めていく事業だと考えている。

令和4年10月 行財政改革実行プラン市民説明会
（鉄道高架化は進めていくのか）

現在の市の体力では難しいと考えている。事業化しようとするのであれば都市計画税を引き上げさせてもらう可能性もある。まずは（財政的）な基礎がしっかりしてから、改めてチャレンジする必要がある。

こんな質問が出ました

鉄道高架の代替整備手法を比較検討

Q　様々な観点から事業概要を整理し、概略設計を行い比較検討するとあるが、その内容と今後の予定は

A　内容については、この検討業務の中で検討する。来年夏を目指してまとめる予定。その後、比較検討した結果を踏まえ、どのように進めていくか、議員の皆様と一緒に相談していきたい。

文化勤労会館の整備（追加工事）

Q　追加補正となった経緯は

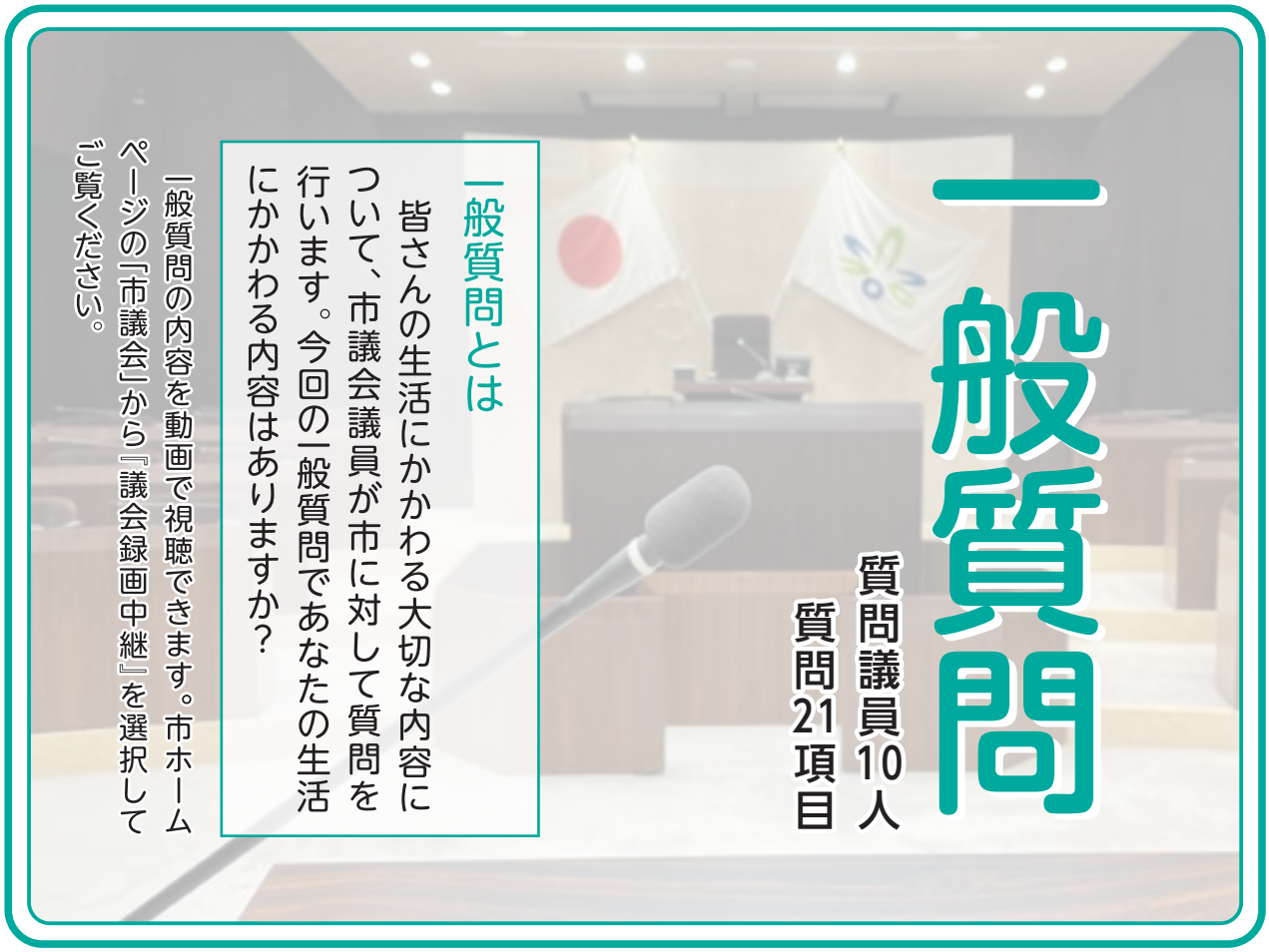
A　当初の見込より壁面の劣化、剥離があり安全性確保、長寿命化のため計上した。

Q　業者側の見積誤りということか

A　足場を組む調査を提案されたが調査費を削減するためにサンプル調査としたため、見積誤りではない。

Q　業者が提案する以外にも調査方法はあったのでは

A　今後はそういった民間の視点を持っていく。



一般質問

質問議員10人
質問21項目

一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

一般質問の内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から『議会録画中継』を選択してご覧ください。

教育

子どもたちの読書活動の推進について

福岡　康（市政クラブ）

誰にでも読書の楽しみ、課題解決の機会を提供する図書館は、かけがえのない学びの場である。

学校読書調査では不読者が多く、学校図書館の活用、読書活動の指導と推進、読書・学習・情報センターの3機能を円滑に進めるための司書の登用が重要。

①本市の小中学校の不読率は。

②学校図書館規模や蔵書充実度は。

③司書教諭や学校司書の配置状況及び図書館の運営活用の現状、課題と取組は。

④文字離れについての考えは。

教育部次長

①令和5年10月に独自に調査を行う。

②国の基準を満たしている学校は、小学校8校、中学校2校である。

③司書教諭は全ての学校に配置、学校司書は未配置。図書主任会を組織し、読書活動の効果的な取組や課題解決に向け協議を始めている。

④読書は様々な効果があるため、適切な支援と環境作りに努める。

その他の質問

■学校図書館と市図書館の連携による読書活動について

■歴史民俗資料館の博学連携事業と今後の展望について

■ゆとりある駐車場と食事や休み処の提供について

教育

将来世代のための英語留学の導入について

井上　一男（市政クラブ）

日本人が国際人として渡り合える教育として、小中学校で英語留学及び交換留学で学ぶ機会を得る事が重要と考える。

①小中学生の英語留学制度のシステム化についての考えは。

②北名古屋市国際交流協会と教育委員会が連携して実施する交換留学制度のシステム化についての考えは。

③将来展望と財源をみて、留学制度を再開する考えは。

教育長

①過去にグアムを研修地とし、英語力の向上や異文化理解に成果があった。事業費の問題があるが、手法を研究し、英語力の向上に努める。

②交換留学は、大きな成果を得るには長期間滞在する仕組みにすべきだが、将来展望を見据えた制度設計や相手国との調整が必要で難易度が上がる。交換留学制度の構築は人的配置、財政的に難しいが、国際交流協会とさらに連携を図っていく。

③学校現場のニーズが変化しているため、現場で優先する教育施策を講じている。

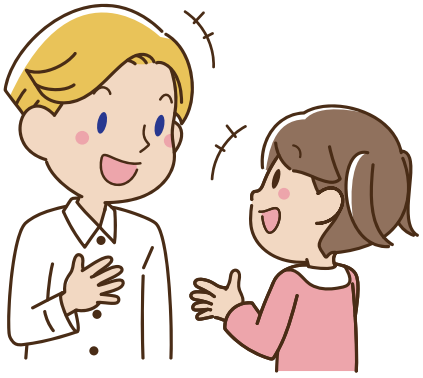
その他の質問

■西春小学校の研究発表会について

■英語指導事業について

■総合政策部で優先度の高い政策は

■生活安全部で地域がどの様に変わるのか



防災環境

災害時におけるペット同行避難の広報啓発活動について

まみや　文枝（公明党）

被災時には飼い主はペットと同行避難することが原則であるが、周知も受け入れ体制も十分ではない。ペットとの同行避難をスムーズに進めるためには、平常時から受け入れ体制を整えることや住民への啓発が必要。大勢が共同生活を送る避難所においては、ペットのトラブルが生じないようにしなければならない。

普及啓発活動の取組としてペット災害手帳を発行している自治体もある。普及啓発には市のホームページでの周知が有効と考える。

市の公式ホームページに、ペット同行避難についての説明を加え、周知をする考えは。

防災交通課長

災害時には何よりも人命が優先されるが、ペットが家族の一員という認識も根付いた。飼い主とペットが安全に避難するには、飼い主の安全確保が大前提である。

事前にワクチン接種や寄生虫駆除を行い、ケージに慣れさせておくなど平常時からの適正飼育が有効な災害対策。広報啓発活動については、市ホームページへの掲載を検討していく。

その他の質問

■災害時における聴覚障がい者への情報伝達について

教育

不登校への支援の推進と学びの保障について

上野　雅美（立憲民主党）

不登校の子ども達が急増しており、不登校の理由が複雑で高度になっている。保護者への支援も必要であり、不登校の子ども達とその保護者に寄り添い、多様な学びの保障やきめ細やかな支援が必要である。

①不登校の状況と課題は。

②保護者支援の今後の取組は。

③校内教育支援センターの設置について、現状と今後の取組は。

④授業のオンライン指導体制は。

⑤ＩＣＴ学習を行う児童生徒への適切な評価の現状と今後の取組は。

⑥保護者の困り事に関する情報発信や、具体的な支援は。

教育部次長

①新たな不登校割合と年度をまたいで解消されない割合が定着している。関係機関と連携し対応している。

②担任を中心に教職員による相談や連携を図り、ケースに応じて個別に相談や支援を行っている。

③限られた施設を使用し、学びの場と居場所を確保している。校内教育支援センターの設置には指導員の確保が課題。

④タブレットを活用し、学習支援を行っている。

⑤公的機関、フリースクールは学習状況確認時に出席、自宅は出席扱いとはせず、今後も支援に努める。

⑥保護者の交流機会を設けたい。

文部科学省HPより

建設

水道水のＰＦＡＳ検出問題に市の対応は

渡邉　麻衣子（日本共産党）

豊山配水場の井戸水からＰＦＡＳが検出され、井戸水配水が停止された。師勝配水場でも検出されたが、暫定目標値を下回っているため、配水が継続されている。暫定目標値の見直しが進んでおり、より規制が必要な化学物質と示唆されている。住民団体が実施した血液検査の結果も見過ごせず、健康への悪影響の可能性があり、市民の気持ちに寄り添う市の対応が求められる。

①ＰＦＡＳ検出を受けて住民団体が実施した血液検査について所感は。

②実態把握調査や健康相談など、今後の市の対応は。

③事態を放置せず、深刻な問題だと捉えてほしい。

④国を待たず、動き出すことが重要。関係機関が連携する対策とは。

市長

①科学的知見に基づく冷静・慎重な対応が重要。国の動向を注視する。

②確定的な知見はなく、専門家による検討が進められており、国の動向を注視している。

③国の判断を注視していく。

④他自治体と連携し、問題発生時に直ちに対応する体制を整えていく。

その他の質問

■ＰＦＡＳから市民の安心と健康を守るための対応は

福祉

本市の保育を取り巻く状況について

浅利　公恵（市政クラブ）

第2次北名古屋市総合計画には、「少子高齢化が進む中で、子育て世代が定住したくなる魅力的な子育て環境をつくることが地域の持続的発展に不可欠」と記載されており、保育ニーズ、施設の改修・修繕についての現状と課題も記載されている。

①保育園の現状は、平成20年以降14園あった園を5園統廃合し、現在11園中5園が築40年以上経過している。今後適正配置も含め、どう維持管理していくか。

②保育業界にも少子化と労働人口減少の波が押し寄せ、保育士採用に影響を及ぼしている。一方、保育所利用児童数は減少していき、保育施設を選ぶ時代がやってくる。保育士の業務負担軽減を図るICT化を導入し人材確保と定着化を図る考えは。

③外国語活動必修化の前準備として英語活動の導入の意義が考えられるが、保育園において英語活動の時間の導入の考えは。

福祉部長

①公立保育園等の配置計画を作成しており、詳細がまとまり次第示す。

②活用事例や実施に向けて検討を重ねており、更に検証を続ける。

③教育委員会等と連携し、英語に触れる機会づくりの導入に向けた取組について検討していく。

市民健康

軟骨伝導イヤホンの導入について

つるた　りえ（公明党）

日本の難聴者は約1，300万人に上り、今後さらに増えると見込まれている。一方、補聴器の所有率は、難聴者の15・2％であり、高額の為に諦めている高齢者もいる。

軟骨伝導イヤホンは、難聴者のプライバシー保護にも繋がり、これまでより円滑にコミュニケーションを取れるようになる。軟骨伝導イヤホンを窓口に設置することにより、聞こえづらさや大きな声で会話し個人情報を周囲に聞かれるリスクの軽減が図られ、住民サービスの向上に繋がると確信する。

①今後本市での窓口導入の考えは。

②高齢化が急激に進み、窓口での説明が聞こえづらい市民が多くなり対応も急務。市民課としての考えは。

市民課長

①軟骨伝導イヤホンは外部の音の聞き取りには影響がなく、音漏れしにくい。補聴器に比べても衛生的であり扱いやすい。

今後高齢化に伴い、声が聞こえづらい対象者の増加が見込まれるため、軟骨伝導イヤホンは有効。市役所全体の問題として調査研究していく。

②説明が聞こえづらい方が多くなることが予想され、親切丁寧な説明をするための有効なツールのひとつ。

総務

男女平等社会は賃金格差の解消から

伊藤　大輔（立憲民主党）

日本の男女間賃金格差は諸外国と比較して大きく、雇用形態が女性にとって働きにくいことは明らか。男女間賃金格差の解消はあらゆる男女平等社会の土台である。

①「令和４年度職員の給与の男女の差異の情報公表」から分析された傾向や課題は。

②非正規職員と正規職員との賃金格差によって全職員の男女間賃金格差が大きくなったのか。

③賃金格差の実態を明確にするために、男性正規職員と女性非正規職員の給与の差を調査公表する考えは。

④男性正規職員と女性非正規職員の賃金格差解消についての考えは。

⑤任用形態で女性が低賃金となる間接差別の解消を率先すべきでは。

総務部次長

①各種手当割合が男性職員の方が女性職員よりも多い傾向。子育てと家庭を両立できる職場の実現が課題。

②正規・非正規職員賃金差の結果。

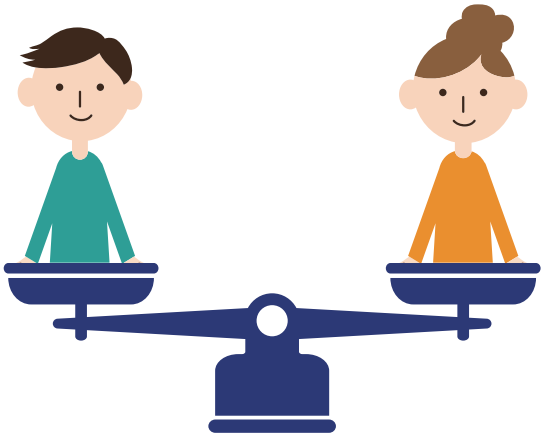
③国の動向を注視し対応を進める。

④女性も男性も育児と働くことを両立できる環境を整えていきたい。

⑤非正規職員の方が賃金が低いのではなく労働環境により違いがある。

その他の質問

■ＬＧＢＴ理解増進法が市政に与える影響について



防災環境

消防団施設の整備と装備品の拡充を

川渕　康宏（日本共産党）

消防団は幅広い活動をしており、火災対応だけでなく、地域の安全・安心のため活躍している。今後の災害に備え、消防力の体制強化が重要。老朽化したりトイレがない詰所もあり、施設の整備や装備品の拡充が課題。また、大震災や豪雨災害の対策も重要であり、国も財政措置拡充の必要性を認識している。

近年、頻繁に発生する台風やゲリラ豪雨など異常な天候が続いており、防災力の強化を進めていくことが重要。消防団は、地域防災のリーダーとして重要な役割を担っており、早期の環境整備拡充が必要。

①消防力の早期強化を進めるための市の今後の計画は。

②地域にとって、現在の消防団の役割とは。

防災環境部長

①詰所の整備の重要性は認識しており、市全体で検討していく。また、国や県の財政支援を活用し、消防力の強化に向け装備品を拡充する。

②南海トラフ地震では火災が類焼すると言われており、常備消防だけでは及ばない。消防団員の確保が重要であり、共助の力の底上げが急務。

その他の質問

■入居賃貸で民間業者との更なる連携強化を

市民健康

女性の健康と産前産後、子育ての悩みへの支援

ひろた　幸治（無会派）

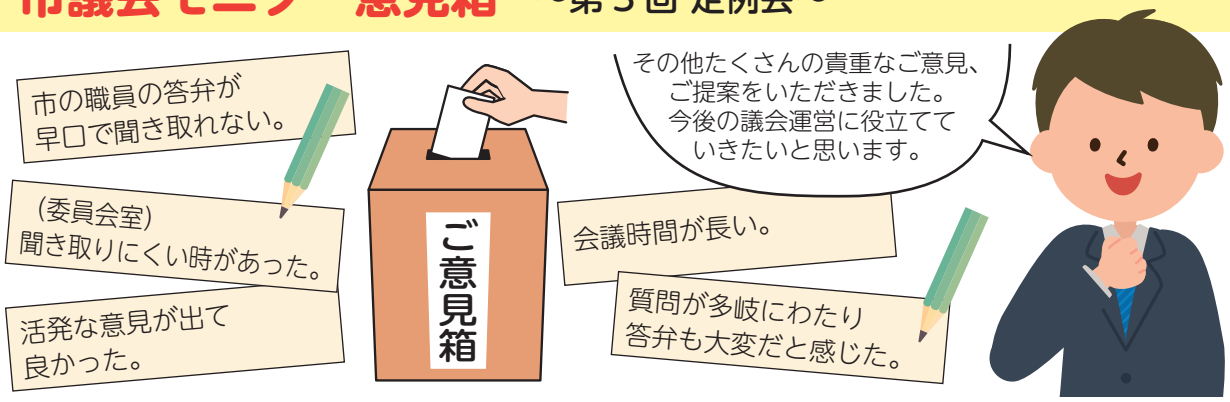
現在、妊婦と子育て家庭への伴走型相談支援が行われているが、相談までの間隔が長い、里帰り出産による相談機会の喪失、仕事で時間が取れない等の課題もあり、対策の必要性が高い。また、支援をする側の負担増等の課題解決も必要である。

女性の健康と産前産後や子育ての悩みへの支援を充実させるため、多くの相談に対応ができる遠隔健康医療相談サービスの導入が必要と考えるが、見解は。

健康課長

保健センターでは、安心して子どもを産み育てることのできる環境整備に取り組んでおり、伴走型相談支援事業として、地区担当保健師から連絡をとる等、支援者と保護者が顔の見える関係でコミュニケーションをとり、軽い相談から対応することで保護者に寄り添った継続的な支援を行っている。センターが閉館している時間帯の相談先として、子育て世代にとって身近なＬＩＮＥ等を活用したさまざまな相談先についても周知している。遠隔健康医療相談サービスは、ライフスタイルに合わせたサービスで気軽に医師や助産師等に相談ができ、有効であると認識しているので、今後、先進自治体の情報を把握し研究していく。

市議会モニター意見箱　～第３回 定例会～



皆様の声をお聞かせください

議会だよりをより充実させるため、
皆様からのご意見ご感想をお聞かせください。

議会事務局

●メール　giji@city.kitanagoya.lg.jp

●ＦＡＸ　（0568）23-3140

議会運営委員会 視察報告

視察概要

日　付	令和5年7月27日（木）
視察先	神奈川県藤沢市議会
テーマ	ワールドカフェ形式の議会報告会について
内　容	平成25年度から、議会報告会・意見交換会を開催していたが、参加者の年齢層の偏りや固定化等の課題が生じていた。 現在は、これまでの議会報告会・意見交換会を発展させた、ワールド・カフェ形式を採用して意見交換を行っている。リラックスした雰囲気での意見交換会となり、若い世代や女性の参加者が増加し、満足度が大幅に向上したとのこと。

所　感

- 議会報告会はこれまでから手法を変えて対話方式にした方が市民との意見交換・意見集約ができると感じた。実施のためにはファシリテーターの確保など課題はあるが、広聴の効果が高いと感じたのでさらに研究したい。
- 形式にとらわれない対話型の座談会で、リラックスした雰囲気の中、シャッフル形式をとり大勢の人との対話ができるように工夫されているワールド・カフェ形式での実施であれば、市民の皆様にも参加していただくことができるのではないかと思った。
- ワールド・カフェ形式、議員の役割とルール、意見交換の心得により、結論・反論を出さない、自由な考え、質より量を重視する、最後はアイディアを合わせて発展させる機会となっている事がわかった。

日　付	令和5年7月28日（金）
視察先	静岡県掛川市議会
テーマ	議会報告会・政策討論会について
内　容	平成25年から議会報告会を開催。 翌年から政策討論会も実施。 現在は、常任委員会で調査研究のテーマを設定し、研究成果を議会報告会で発表。常任委員会で提言を作成し、委員会の政策案について全議員による政策討論会で合意形成を図る。結果を市長に政策提言するという市民参画型の政策立案サイクルを構築している。

所　感

- 議会報告会を議員中心で推進していく方法は、本市議会でも取り入れやすく、身近で実現可能なものに感じた。
- 政策立案サイクルに組み込まれた議会報告会や所管事務調査が議会活性化の歯車となり市民の意見が反映されていた。市民の意見を議員間で討議して市への政策提言を目指すことが、より市民に開かれた議会となると感じた。
- 政策立案サイクルの見える化は、議会基本条例に沿った取組であるので、本市議会の議会運営にも取り入れていきたい。議会・議員活動の見える化、市民の意見を聴く機会の充実により、議員間の討議の充実、政策立案や条例制定などへと繋がる事が見えたので、本市議会らしい議会と市民を繋ぐ仕組みづくりを進めたい。

11月は虐待防止月間です

北名古屋市議会は

「子どもを虐待から守るまち宣言」

を決議しています

子どもを虐待から守るまち宣言

子どもが安心できる家庭で、一番の愛情を注ぐはずの両親などから虐待を受け、命が奪われるという非常に痛ましい事件が起こるなど、日本社会全体にとって深刻な社会問題となっている。

子どもへの虐待は、生命及び人権を著しく脅かす決して許してはならない行為であり、何人にも子どもへの虐待を行わせないという姿勢が欠かせない。

北名古屋市では、「子どもがすてきに育つまち　北名古屋」を推進しており、専門部署を設置し、子どもへの虐待の早期発見、早期支援などのため、児童相談所、警察、学校、保育所、地域の関係機関との密な連携によって子どもへの虐待に対する施策を強く進めているが、虐待の根絶には至っていない現状であり、市民一人ひとりが子どもへの虐待問題に対する理解を深め、主体的な関わりが持てるような環境づくりが喫緊の課題である。

北名古屋市議会は、子どもがいきいきと健やかに成長することができる地域社会の実現に向けて、市や関係機関と一層の連携や情報の共有を図ることで虐待の防止を深め、子どもを虐待から守るという確固たる姿勢を持って、普及啓発・相談体制の強化などあらゆる方策を提言し、虐待の根絶のため全力で取り組むことを宣言する。

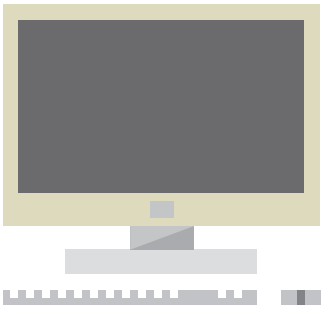
令和元年6月26日

北名古屋市議会

ホームページをご覧ください

インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果など様々な情報が見られます。
市民のみなさまのアクセスをお待ちしております。

※通信料等はご利用者負担となります。



ホームページは
こちらから

字幕を表示します

令和5年9月定例会の録画配信より
字幕の表示を開始します。

※字幕は調製した会議録を基にするため、
定例会後約40日後の配信となります。

北名古屋市議会　検索

発行／北名古屋市議会　編集／北名古屋市議会広報広聴委員会
住所／〒481-8501 愛知県北名古屋市熊之庄御榊60
電話／TEL0568-22-1111　FAX／0568-23-3140

令和5年 第4回定例会の予定

11月30日(木)	本会議（初日）
12月11日(月)	本会議（一般質問）
12月12日(火)	本会議（一般質問） ※12/11にすべての日程が終了した場合は開催されません。
12月13日(水)	予算決算常任委員会
12月14日(木)	福祉教育常任委員会
12月15日(金)	建設常任委員会
12月18日(月)	総務常任委員会
12月19日(火)	鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会
12月22日(金)	本会議（最終日）

請願書・陳情書の提出について

令和5年第4回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、11月20日(月)の午後5時(予定)です。
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

表紙紹介

奥岡 夢乃さん（名古屋芸術大学）

桃源郷

コンセプトは自分の名前の由来である、桃源郷。自分を構成する好きなモノ大切なモノであるジュエリーと花を掛け合わせ、自分にとっての桃源郷を表現。
コース選択後の3年間、振り返れば植物のように成長し、毎日花が咲くように楽しかった。

編集後記

今回は決算審議を特集しています。予算審議が政策の事前評価なら決算審議は政策の事後評価です。つまり、政策の目標は達成できたのか、どのような効果をもたらしたのかを市民の視点に立って評価することです。その政策評価を次年度の予算編成に反映させ、より市民本位の市政となるよう各議員は知恵を絞って質疑を行っています。

令和4年度決算も2日間にわたり熱心な審議が行われました。『きたしる』の記事だけではなく、併せてホームページの議会録画中継や会議録を是非ともご覧下さい。より詳しく各議員の質疑と当局による答弁の内容が分かります。皆様のご意見・ご感想をお寄せいただけると幸いです。

11月は子どもの虐待防止月間です。私たち市議会は子どもの虐待を根絶するために、今後とも全力で取り組む決意ですので、よろしくお願いします。